働く仲間の笑顔のために

田村まみ通信

mamitamura.com

2020年9月号

働く仲間の声・生活者の声を政府に届ける

新型コロナウイルス感染症は、社会・経済に深刻な影響を与え、多くの働く者の間で雇用や収入への不安が広がっています。

新しい働き方とともに新しい暮らし方を定着させ、ワークライフバランスの実現につなげるＵＡゼンセンの重点政策やコロナ禍での生活者の声を川合たかのり議員と共に政府に届けています。

橋本厚生労働副大臣に介護料の負担軽減と介護現場の声を届ける。

川合たかのり議員、ＵＡゼンセンの皆さんと環境省に要請活動。

川合たかのり議員、ＵＡゼンセンの皆さんと消費者庁に要請活動。

川合たかのり議員、ＵＡゼンセンの皆さんと厚生労働省に要請活動。

早期に雇調金特例措置の延長を決断せよ!!

コロナ禍で国民の暮らしが揺らいでいる中、本来ならば速やかに国会を開き新型コロナの対応を柔軟かつ機動的に政策決定し実行するのが政治の使命です。しかし、政府与党は誠実な対応を拒み、一方、野党も政府批判を繰り返すだけでは国民の信頼、期待を得られるものではありません。その中、私たちが開催を強く要求した厚生労働委員会の閉会中審査が行われました。

長引くコロナ禍で企業規模に関わらず困難を乗り越えるために、労使でありとあらゆる努力・工夫を重ねています。また、これまでに職場訪問やリモート会議等で働く仲間・企業経営者・生活者の方々から「具体的な要望」「職場や暮らしの中での不安」を直接受け取っています。

終息が見えないコロナ禍において「一部の企業では雇用を含めて経営戦略を練りながら対応し、最悪の事態を想定する経営戦略を選択肢としてとらざるを得ない」との声も聞こえてきます。

この様な最悪の事態を回避するためにも、雇用調整助成金の特例措置延長を早期に決断し、雇用を守り事業が継続し、コロナ後の経済回復に直結する施策の実行を強く政府に求めました。

厚生労働委員会での質問がNHKのニュースで取り上げられる

厚生労働委員会の質問が具体化へ…